

各位

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 代表者 代表取締役社長 中川博司
 (コード番号 2176)
 問合せ先責任者 執行役員 社長室長 野竹文彦
 (TEL 0265-73-6647)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,029	22	5	△5	△165.62
今回発表予想(B)	1,846	△96	△131	△99	△3,330.40
増減額(B-A)	△182	△118	△137	△94	
増減率(%)	△9.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,579	0	△24	△25	△841.55

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,195	237	205	100	3,312.15
今回発表予想(B)	3,918	91	38	3	109.72
増減額(B-A)	△276	△145	△166	△97	
増減率(%)	△6.6	△61.4	△81.1	△96.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,750	168	153	66	2,219.76

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,090	37	22	12	401.27
今回発表予想(B)	1,846	△90	△106	△68	△2,295.04
増減額(B-A)	△243	△127	△129	△81	
増減率(%)	△11.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,579	8	0	△3	△116.33

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,195	261	233	132	4,369.52
今回発表予想(B)	3,918	89	60	41	1,369.82
増減額(B-A)	△276	△171	△172	△91	
増減率(%)	△6.6	△65.7	△74.0	△68.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,750	203	186	100	3,366.83

修正の理由

- 第2四半期連結累計期間連結業績予想
 いわゆる「2010年問題」や医療費抑制政策の影響等から、大手製薬企業では新たな収益源の早期確保を目指し、一時的に海外の新薬開発企業の買収や、最終段階にあるパイプライン(有望な新薬の種)の試験に投資を集中させる傾向が見られております。基礎研究段階である非臨床試験分野の回復は当社予測よりも緩やかであり、受注の伸び悩みと価格競争

の激化により、試験受託業界の収益構造は非常に厳しいものとなっております。

当社グループではこの経営環境に対応すべく、営業体制の強化や環境事業の拡大及び経費節減に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間は、環境事業の製薬企業研究向け動物飼育機材の売上が増加し、主力の非臨床試験事業も売上においては一定額を確保したことから、売上高については前年を上回ることができましたが、計画に対しては未達となりました。利益面についても、非臨床試験事業の設備稼働の低迷や受注価格の低下、環境事業の厳しい品質ニーズへの対応によるコスト増等が売上総利益を圧迫し、販売管理費の削減でカバーすることができなかったことから、計画を下回る結果となりました。

2. 通期連結業績予想

非臨床試験事業については、業績の好調な一部製薬企業を中心に緩やかながら足元の受注も回復しつつあり、当社の当連結会計年度末の受注残高も前連結会計年度末を上回るものと見込まれております。また欧州支所は海外からの受注拡大に向け、営業活動を本格化しております。

しかしながら、前連結会計年度から当連結会計年度前半にかけての受注低迷の影響は色濃く残り、当連結会計年度後半の受注回復による売上・利益への貢献も限られたものになることから、前回発表した業績予想を下回る見込みとなりました。

3. 第2四半期累計期間個別業績予想

当第2四半期累計期間の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに連結の修正理由と同じであります。

4. 通期個別業績予想

通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに連結の修正理由と同じであります。

(業績予想に関する注意)

本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上